

## 学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果のポイント

調査時点：令和4年9月1日時点

&lt;公立小中学校（義務教育学校、中等教育学校前期課程を含む）&gt;

## I バリアフリー化の状況

・公立の特別支援学校と国立学校については、別添2に記載しており、以下の数字には含まれていない。

## 1. 全体

## (1) 校舎

総学校数	バリアフリー トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター 〔1階建ての校舎のみ 保有する学校※2を含む〕
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から 教室等まで※1	
参考：令和2年度 28,156 (100.0%)	18,359 (65.2%)	22,111 (78.5%)	16,122 (57.3%)	7,634 (27.1%)
27,733 (100.0%)	19,523 (70.4%)	22,805 (82.2%)	16,954 (61.1%)	8,041 (29.0%)
令和7年度末 までの整備目標	避難所に指定 されている 全ての学校に整備 (約93%※3)	全ての学校 に整備	全ての学校 に整備	要配慮児童生徒等が 在籍する全ての学校に 整備 (約41%※3)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路。

※2 1階建ての校舎のみ保有する学校は241校（総学校数の約1%に相当）。

2階建て以上の校舎を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は7,800校（総学校数の約28%に相当）。

※3 令和4年度調査時点

## (2) 屋内運動場

総学校数	バリアフリー トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター 〔1階建ての屋内運動場のみ 保有する学校※2を含む〕
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から アリーナ等まで※1	
参考：令和2年度 27,890 (100.0%)	10,299 (36.9%)	20,747 (74.4%)	15,884 (57.0%)	18,387 (65.9%)
27,514 (100.0%)	11,516 (41.9%)	21,429 (77.9%)	17,098 (62.1%)	19,394 (70.5%)
令和7年度末 までの整備目標	避難所に指定 されている 全ての学校に整備 (約98%※3)	全ての学校 に整備	全ての学校 に整備	要配慮児童生徒等が 在籍する全ての学校に 整備 (約76%※3)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にあるアリーナ等までの経路。

※2 1階建ての屋内運動場のみ保有する学校は、17,918校（総学校数の約65%に相当）。

2階建て以上の屋内運動場を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は1,476校（総学校数の約5%に相当）。

※3 令和4年度調査時点

2023年3月17日 参議院文教科学委員会 れいわ新選組：船後靖彦

出典：「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果のポイント」

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課

[https://www.mext.go.jp/content/20221226-mxt\\_sisetuki-000026670\\_11.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221226-mxt_sisetuki-000026670_11.pdf)

## Ⅱ バリアフリー化に関する整備計画<sup>※1</sup>の策定状況

計画や方針等がある学校設置者 25.0% (453 設置者/1,810 設置者)

※1 所管する学校施設のバリアフリー化に関する計画や方針等。インフラ長寿命化計画に基づく個別施設計画や教育振興基本計画その他の計画・方針等において、所管する学校施設のバリアフリー化に関する整備計画について記載してある場合を含む。

## Ⅲ バリアフリー化の予定

・公立の特別支援学校と国立学校については、別添2に記載しており、以下の数字には含まれていない。

(1) 校舎 (表中の () 内の数字は令和4年度の総学校数 (27,733 校) に対する割合)

校舎における バリアフリー化 の予定	バリアフリー トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター (1階建ての校舎のみ 保有する学校 <sup>※2</sup> を含む)
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から 教室等まで <sup>※1</sup>	
整備済み (再掲)	19,523 (70.4%)	22,805 (82.2%)	16,954 (61.1%)	8,041 (29.0%)
令和7年度	20,959 (75.6%)	23,478 (84.7%)	18,431 (66.5%)	9,487 (34.2%)
令和7年度末 までの整備目標	避難所に指定 されている 全ての学校に整備 (約93% <sup>※3</sup> )	全ての学校 に整備	全ての学校 に整備	要配慮児童生徒等が 在籍する全ての学校に 整備 (約41% <sup>※3</sup> )

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路。

※2 1階建ての校舎のみ保有する学校は241校(総学校数の約1%に相当)。

2階建て以上の校舎を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は7,800校(総学校数の約28%に相当)。

※3 令和4年度調査時点

(2) 屋内運動場 (表中の () 内の数字は令和4年度の総学校数 (27,514 校) に対する割合)

屋内運動場 における バリアフリー化 の予定	バリアフリー トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター (1階建ての屋内運動場のみ 保有する学校 <sup>※2</sup> を含む)
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から アリーナ等まで <sup>※1</sup>	
整備済み (再掲)	11,516 (41.9%)	21,429 (77.9%)	17,098 (62.1%)	19,394 (70.5%)
令和7年度	13,783 (50.1%)	22,247 (80.9%)	18,462 (67.1%)	19,777 (71.9%)
令和7年度末 までの整備目標	避難所に指定 されている 全ての学校に整備 (約98% <sup>※3</sup> )	全ての学校 に整備	全ての学校 に整備	要配慮児童生徒等が 在籍する全ての学校に 整備 (約76% <sup>※3</sup> )

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にあるアリーナ等までの経路。

※2 1階建ての屋内運動場のみ保有する学校は、17,918校(総学校数の約65%に相当)。

2階建て以上の屋内運動場を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は1,476校(総学校数の約5%に相当)。

※3 令和4年度調査時点

2023年3月17日 参議院文教科学委員会 れいわ新選組：船後靖彦  
出典：「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果のポイント」

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課

[https://www.mext.go.jp/content/20221226-mxt\\_sisetuki-000026670\\_11.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221226-mxt_sisetuki-000026670_11.pdf)